

2018 年度事業報告

平成 30 年度は新 5 ヵ年行動計画の 3 年目、従来からの目標である「人を育て遺してゆく」、「作業療法士不在地域ゼロ作戦」に変わりはないが、ほぼ予算通りに各事業を執行できた。

①神経認知障害も含めて「生活行為向上に資するマネジメント」の展開

平成 24 年度から積極的に取りくみはじめた地域作業療法は、29 年度から総合事業の開始とともに、リハ専門職が各種の会議や事業への参加が求められ、HARP 北海道リハビリテーション専門職協会と協働しつつも、住み慣れた街で自分らしく暮らす生活を支援する専門職として、身体機能の回復のみならず、神経認知障害（いわゆる認知症）も含めて人生状況への参加や 24 時間 365 日の活動を実現する作業療法の専門性を示すためにも、「生活行為向上に資するマネジメント」を医療保険、介護保険、ならびに市町村事業などに積極的に展開するよう働きかけてきた。OT 不在は 81 市町村 45%と十分とは言えない状況にて、引き続きご努力願いたい。

②代議員制への移行

平成 30 年 1 月の理事会で承認、6 月の総会で会員の承認、10 月に告示、空知支部は定数に満たなかったため 1 名が理事会推薦、十勝支部は定数を上回ったため郵送投票選挙となったが無事終了した。これにより令和元年 6 月には、新代議員による新たな理事選挙が行われる予定にある。新代議員には一般会員との相互交流の下、自覚と責任のある行動を期待する。

③新ジャーナル「作業療法の実践と科学」発刊と 50 周年記念学術大会と研修大会開催準備

刊行以来 35 年の歴史を有する「北海道作業療法」をあらため、読者のみならず投稿者のベネフィットも重視し、未来と世界に向けた電子ジャーナル「作業療法の実践と科学 ; Practical Science of Occupational Therapy : PSOT」が、平成 31 年 3 月に記念すべき第一歩を踏み出した。50 周年記念の学術大会と研修大会および記念式典の開催準備も鋭意進められている。

その他、以下の項目を重点に対応した。

A) 会員データベース管理システムへの完全移行

未移行会員が 15%と改善しているものの残存しているもので、協力をお願いしてゆく。

B) 事務管理業務のアウトソーシングも含めた再組織化

オフィスサプライと提携し、『市町村事業依頼受託』の一部アウトソーシングとし、再組織化した。

C) 協会のモデル事業と連携し養成校学生を対象とした学生会員制度の導入等の試み

養成校最終学年を対象とした仮会員制度を導入したので、今後、効果検証を行ってゆく。

D) 日本作業療法士協会「介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会」に参加し、「孤立を防ごう！情報の収集・活用ナビゲーションロボット（パラダイスナビ：パラナビ）」モデルを提唱した。

E) 研修会は 44 回開催したが、平日開催など方法の多様化を図り、若手の参加を確保した。

【事務局】

[総務部]

1. 会議運営

・ 定期総会：2018 年 6 月 9 日開催

・ 支部部局連絡会議：年 2 回開催

第 1 回 6 月 9 日、第 2 回 1 月 12 日

・ 定例理事会：年 3 回

第 1 回 6 月 9 日、第 2 回 11 月 10 日、第 3 回 3 月 9 日

・臨時理事会：年4回

第1回 4月28日、第2回 8月2日(電磁的会議)、第3回 9月1日、第4回 1月12日

・常任理事会：年3回開催

第1回 7月21日、第2回12月10日、第3回 2月9日

・三役会：年6回開催

第1回 4月26日、第2回 5月31日、第3回 8月27日、第4回11月9日、

第5回 1月7日、第6回 3月9日

2. 会員基本データの保守・管理

3. 定期刊行物の発送及び保管

・士会ニュース(隔月発行)の発送：年6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月)

4. 公文書接受・発行：渉外関係、道士会部局員等委嘱状

5. 会計事務所との打合せ

6. 慶弔：祝電24件：養成校入学式11件、養成校卒業式11件、他2件

[財務部]

1. 平成30年度予算執行の管理

2. 平成30年度中間決算

3. 平成30年度収支決算書の作成

4. 2019年度予算案の作成

【渉外部】

1. 行政、他団体関連事業等への協力・提言

2. 儀礼・新年交礼会出席

3. 日本作業療法士協会との連携

4. 他団体等への委員、講師派遣、後援協力

5. 2019年新年交礼会の企画・運営

2019年1月11日(金)札幌グランドホテルにて開催

6. 公共事業関連の情報収集等

7. 北海道内の養成校において卒業生を対象とした日本作業療法士協会および北海道作業療法士会に関する説明会の実施

【学術部】

[編集委員会]

1. [北海道作業療法]の編集活動

- 1) 雑誌名変更および「北海道作業療法」投稿受付締切を道士会ニュースで案内
 - 2) 第 35 巻 4 号発刊にて終刊
2. 「作業療法の実践と科学」の電子化作業
- 1) Atlas 社（東京）へ初期設定詳細ヒアリング
 - 2) 2018 年 9 月 1 日～運用開始
 - 3) 「作業療法の実践と科学」投稿受付開始をニュースで案内
 - 4) 電子版：2019 年 3 月 4 日に発刊
 - 5) 優秀論文賞の規程作成（理事会検討中）
3. 投稿論文促進の取組みの実施

[学術課]

1. 学術研究助成金について
 - 1) 2017 年度学術研究助成金報告書の公開（編集委員会と協業）
 - 2) 2018 年度学術研究助成金の助成
 - 3) 2019 年度学術研究助成金の募集・選考審査
 - ・ 1 件の応募
2. 生活行為マネジメントに関するデータの蓄積
 - 1) 会員に向け、ニュース・HP・研修会による事例の蓄積・データ化への協力依頼
 - 2) 事例蓄積に関する書式の作成と HP への掲載

【教育部】

研修会の開催や北海道作業療法士会認定会員研修施設を整備し、会員が研鑽できるようにした

1. 養成教育課
 - 1) 研修
 - ・ 研修回数は合計 44 回であった
 - ・ 参加者は 1～3 年目の参加者が多かった
 - ・ 根釧支部研修は、年 3 回シリーズで実施し、好評を得た。また、実技系の研修も定員超えるものがあった
 - ・ 胆振東部地震の影響で、日時を変更した研修が 1 つあった

研修会 44 回

北海道作業療法士会研修会	15 回
現職者選択研修会	4 回
現職者共通研修会	6 回
重点課題研修	6 回
MTDLP 基礎研修会	6 回
MTDLP 事例検討会	6 回
全道研修会	1 回

- 2) その他

- ・ホームページの更新
- ・道士会ニュース記事記載
- ・LINE の発信
- ・スマレジの管理
- ・事例登録の手続き管理
- ・生涯教育基礎ポイントの管理
- ・SIG 登録の手続き管理

2. 生涯教育課

- ・北海道作業療法士会認定会員研修施設一覧を更新作業中

【調査部】

1. 職能・職域に関する会員データの集約と定期的な統計情報公表（開示）に向けた運用の検討
 - ・基本データを事務局から入手し検討中
2. 対面決済の方向性の検討とオンライン決済の利用促進
 - ・対面決済の方向性の検討のため利用状況の推移報告
 - ・オンライン決済促進のため関連部局との協力
3. ホームページ保守管理
 - ・ホームページの定期的なメンテナンス
 - ・広報部へホームページ管理に関して業務移管のための引継ぎ
 - ・アクセス解析継続によるデータの確認

【広報部】

1. 会員外向け情報発信、他部局との協業
 - ・入会促進、組織強化に関しては、養成校学生への道士会説明の刊行物の編集、組織強化モデル事業にて協業。
 - ・作業療法士志望者に関しては、高校生向け UTURU を編集発行。小・中学生への啓発を検討。
 - ・作業療法啓発に関しては、認知症リーフレットを作成。
 - ・既存媒体は、リーフレット4種の更新と補充、ノベルティの選定、補充を実施。
2. 会員向け情報発信、支部広報部との連携
 - ・道士会ニュース（奇数月）年6回の編集発行、webデータのホームページアップロードヲ実施
 - ・支部広報部との会議及び情報共有（合同会議を9月に実施）
3. 会員内・外向け共通の情報発信、他部局との協業
 - ・発信情報の効率的な運用に向け、アンケートを実施し検討を継続。
 - ・LINE@では、発信、ホームページへの流入解析、マニュアルやフォームの管理を実施。
 - ・ホームページに関しては、調査部からアップロード等の一部作業を引継いだ。
 - ・刊行物発行に関する情報を収集し、UTURU、認知症リーフレット、養成校情報一覧へ使用。
 - ・50周年記念誌編集に着手。

4. 道士会事業の写真データの保存 部局、支部、50周年記念事業等へ提供
5. 部局内ガイドラインの管理、運用を実施

【事業部】

一般市民に向けた公益的活動、OT 志望者増大のための啓発活動を継続し、MTDLP（基礎・事例報告会）研修受講啓発を開催した。

1. 公益的活動

- ・道が主催する「次世代の担い手育成推進事業」における「福祉教育アドバイザー」派遣について、道内の小学校4件、中学校1件、高校2件、養護学校2件の計9件の派遣依頼に対応した。
- ・いきいき福祉・健康フェア2018への参画（10/12～15）
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会主催（医技連）のパネル展への参画、及び幹事団体として、他団体との連絡調整をした（開催日8/18）

2. 啓発活動

- ・新卒者に向け、入会促進のため、各部局と共同して新人会員ガイダンスを実施（4/28）
- ・OT 見学可能施設一覧を道内高校に配布
- ・札幌市小学生職業体験イベント「ミニさっぽろ」への参画（9/29～30）
- ・OT 啓発イベント：根釧支部と共同でイオン釧路にて開催（9/1）
- ・介護予防カルタを増刷
- ・一般市民向け作業療法啓発リーフレット検討開始

3. 研修事業（MTDLP 啓発・アドバンス研修）

- ・MTDLP 関連研修実施（各研修受講啓発や書き方講習等）：書き方研修 11/17、MSW、CM との合同研修会：12/8
- ・精神科領域のアドバンス研修会実施（2/2）

4. 支部連携強化

- ・連携強化及び課題共有に向けて支部事業部長と士会事業部間会議→各支部の事業部長の参集会議は見送り、各事業部長とのメールや電話等で綿密な情報交換を行った

5. その他

- ・福祉用具相談支援システム・生活行為工夫情報モデル事業・厚労省介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会の各事業について、道士会事業部内に介護福祉機器対策課を設置

【制度対策部】

1. 新会員歓迎会の開催

- ・平成30年4月28日 北海道自治労会館にて実施
（新人108名、先輩31名、計139名参加）

2. 学会での託児運営の実施

- ・第49回北海道作業療法学会にて託児コーナーの運営を実施（10名の会員が利用）

3. 女性会員の士会活動への参画支援の検討・

・第49回北海道作業療法学会にて育児支援のための情報発信ブース「みらいカフェ」の設置（113名の会員が参加）

4. 団体保険管理・運営・各種必要保険の調査

・団体保険において年間対象者1,300名にて契約更新

5. 制度対策部主催研修会の開催

・第2回診療報酬改定研修会 平成30年6月16日 27名参加（組織強化モデル事業として実施）

・ライフプランセミナー 平成31年2月9日 20名参加

6. 同時改定影響調査・報告

・道士会ホームページ会員ページに掲載

7. 入会リーフレット・ノベルティの作成と配布（組織強化モデル事業として実施）

8. 学生サポートメンバーズカードの作成と配布（組織強化モデル事業として実施）

9. 学生対象無料開放研修会の設定（組織強化モデル事業として実施） 学生32名が受講

10. 養成校最終学年学生への道士会ニュース配布（組織強化モデル事業として実施）

11. 養成校連絡協議会への出席、連携強化と窓口教員の連絡先一覧の作成（組織強化モデル事業として実施）

12. 診療報酬相談・福利相談への対応：診療報酬相談件数1件

13. 市町村介護予防・日常生活支援総合事業等における作業療法士派遣のための名簿作成を開始

14. 市町村からの委託事業に関する事務作業の一部を外部委託

【地域部】

[企画運営課]

1. 地域ケア会議及び介護予防・日常生活支援総合事業に資する作業療法士人材育成研修会の企画運営：道内4か所で開催

釧路：平成30年9月29日（土）開催 受講者15名（OT13名、PT2名）

旭川：平成30年11月18日（日）開催 受講者21名（OT21名）

函館：平成31年1月20日（日）開催 受講者35名（OT33名、PT2名）

札幌：平成31年2月3日（日）開催 受講者17名（OT17名）

今年度受講者合計 88名（内、OT84名）

2. 認定市町村アドバイザー養成と登録推進

・平成30年度は4名の事例報告及び審査実施、2名が認定済み、2名が審査中（2月28日現在）
平成30年度で合計10名が認定市町村アドバイザーとなっている

3. その他、地域作業療法推進に関連する事業の企画運営

「北海道作業療法士会設立50周年記念事業研修会」について

北見：平成30年9月15日（土）開催 受講者28名

稚内：平成30年9月22日（土）開催 受講者9名

帯広：平成30年12月8日（土）開催 受講者20名

なお、受講者には市町村アドバイザー基礎課程修了証を発行した

[地域推進課]

1. 士会受託市町村事業および士会受託地域ケア会議の把握（地域作業療法推進に関する企画書および報告書の管理）

2. OJT 研修会修了者の情報管理
3. 地域ケア会議及び介護予防・日常生活支援総合事業に資する作業療法士人材育成研修会受講者の情報管理及びその活用
4. 認定市町村アドバイザーの登録管理と事例報告の管理・活用
5. 地域作業療法推進のための普及活動
6. 道土会ニュースにて7月号「何故、地域作業療法の推進が必要なのか」、9月号「資するOT人材育成研修会の紹介」、11月号「士会認定市町村アドバイザーの認定制度の紹介」の記事を掲載した
7. その他、地域作業療法推進に関連する事業の情報管理

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

1. 2018年度定期総会開催（6/9 函館アリーナ）
2. 2019年度定期総会開催準備

[学会評議委員会]

1. 平成30年度 第49回学会の支援
2. 2019年度 第50回学会の支援
3. 2020年度 第51回学会の学会長候補の選出
4. 「学会運営手引き（マニュアル）」の継続的な見直し
5. 平成30年度 第49回札幌学会の参加者の動向調査（学会実行員会）
6. 北海道作業療法学会法人化についての検討

[選挙管理委員会]

1. 2018年度第銀選挙の準備・実施
2. 2019年度役員選挙の準備

[企画調整委員会]

1. 住宅改修ワーキンググループの運営
 - ・札幌病院にて改修例をまとめている。準備が整い次第、士会ホームページ等で会員へ還元できるよう準備を進めている。他施設の協力を依頼中
2. 特別支援教育ワーキンググループの運営
 - ・江別市、北海道大学、札幌医科大学、文教大学のスタッフで運営中
3. 5カ年戦略（IT機器、福祉機器）への対応
 - ・ワーキンググループの立ち上げを検討。他部局との協力体制を検討、準備中
4. 理事会で決議された議案への対応

[規約検討委員会]

1. 「市町村担当に関する規約」、「特定費用準備資金取り扱い規程」の新規作成
2. 永年会員について調査
3. 代議員制度に関して道士会ニュースへの掲載
4. 定款変更に関する総会資料作成

【特設委員会】

[白書委員会]

1. アンケート結果のまとめ、分析
2. 「北海道作業療法白書 2017」（北海道作業療法士会創立 50 周年記念誌との合冊）の執筆、編集

[災害対策委員会]

1. 災害対策基金への積み立てを行った
2. 災害対策マニュアルについては未完成の状況
3. 協会災害訓練への参加
4. 協会災害研修会等への参加
5. 災害リハビリテーション推進協議会への参加
・会議 8 回、研修会 1 回開催

[認知症施策推進委員会]

1. 人材育成事業
 - ・重点課題研修「精神領域における認知症の人への支援」
平成30年8月25日（土）「三重県医療保健部長寿介護課 河合 晶子 先生、参加者：34名」
 - ・認知症アップデート研修（認知症サポーター養成講座包含）
旭川開催：平成30年10月21日（日）参加者：34名
札幌開催：平成30年11月3日（土）参加者：56名
 - ・第49回北海道作業療法学会でのワークショップの開催
「ユマニチュードやパーソンセンタードケアを通じて作業療法を再考する 参加者：44名」
2. 調査事業
 - ・平成29年度調査結果を踏まえた作業療法士の実践等の継続調査の実施
 - ・家族会への連携強化に向けた情報収集と検討
3. 広報・啓発事業
 - ・道士会ニュースへの関連記事の掲載（年6回、毎号掲載）
 - ・認知症関連イベント活動の情報収集と検討
 - ・他職種連携研修会および若年認知症フォーラムへの参加と情報収集

- ・一般向け認知症リーフレット作成への協力会議5回、研修会1回開催

4. その他

- ・新オレンジプランに関連する事業の検討
- ・日本作業療法士協会認知症の人の生活支援推進委員会議（東京）出席（平成30年10月27日（土）～28日（日））

[MTDLP 推進委員会]

会員に向けてMTDLPの浸透・実践力向上、他職種との連携推進に向けて以下の活動を企画・実践を行なった。また、各地域でMTDLP啓発活動をサポートしていただくためMTDLPサポーター登録制度を創設した

1. MTDLP研修受講啓発研修（札幌1回、旭川5回）
2. 「第2回OTおよび北海道医療ソーシャルワーカー協会・北海道介護支援専門員協会合同研修会」
3. 「MTDLP書き方研修」
4. 第49回北海道作業療法学会にてMTDLPワークショップ

【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会の開催（6、1月）
2. 各支部の年度活動計画・報告、年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約
3. 支部事業部活動の実施状況の把握
4. 理事会と支部間の連絡調整
5. 各部局・委員会と支部間の連絡調整
6. 地域作業療法推進事業
 - ・地域ケア会議、OJT 講習会の協力開催
7. 生活行為向上マネジメント講習会の協力開催

[札幌支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議3回実施、各ブロック連絡会の開催（計9回）
3. 札幌支部施設間連絡会1回
4. 広報誌の発行（年1回）
5. 現職者共通研修会1回、現職者選択研修3回、支部企画講習会4回当の運営
6. ミニさっぽろ・医団協パネル展・OTの日啓発活動
7. 出張講座への講師派遣4回
8. 外部関係機関への会員派遣
9. 地域作業療法推進事業
 - ・地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、札幌市介護予防自立支援事業への参画

[石狩支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議の開催（年4回）
3. 広報誌の発行3回、支部懇親会の開催2回
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修の運営1回
5. 北広島元気フェスティバル・石狩市いきいきフェスティバルへの参加、地域包括支援センタースタッフとの意見交換会の開催（PT・OT・ST 合同）
6. 石狩地域リハビリテーション推進会議への派遣

[空知支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議の開催
3. 広報誌「向日葵」の発行2回、役員用掲示板の管理、支部交流会の開催、空知支部勉強会開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修の共同運営
5. 砂川市立病院まつり、岩見沢健康まつりへの参加
6. MTDLP 実践者研修の企画運営 1回
7. 支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営2回、現職者共通研修会の運営2回
5. 健康祭り、地域イベント活動への参加
6. 後志地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣

[日胆支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議の開催3回開催
3. 広報誌の年2回発行、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営協力
5. ひだか健康まつり・リレーフォーライフ事業・子育て応援 EXPO・健康フェスタとまこまい・とまこまいキッズタウン2018への参加
6. 西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業

- ・地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、事業説明会
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営4回、OTの日啓発事業の企画運営、NPO祭りの参加、MTDLP基礎研修会の開催1回、MTDLP実践者研修会の開催2回、地域ケア会議に資する人材育成研修会の開催1回、市町村担当者会議/地域ケア会議アドバイザー養成OJT研修の運営補助(HARP主催)1回
5. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり
6. 南渡島地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣、各団体後援協力
7. 地域作業療法推進事業
 - ・地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、渡島総合振興局、檜山振興局への挨拶や意見交換、支部内での地区長会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加(鹿部町)、知内町介護予防事業への作業療法士派遣(HARP)

[道北支部]

1. 会員情報の集約(名簿作成、会員及び各部用MLの作成・管理)、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行6回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営
5. 旭川市健康まつり・稚内ふくしフェスタへの参加、OTの日啓発活動の企画運営、他地域イベント活動への参加
6. OJT研修会・MTDLP講習会運営援助
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業
 - ・支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握
 - ・旭川地域リハビリテーション活動支援事業への参画(HARP)
 - ・中頓別町介護予防事業、下川町地域リハビリテーション活動支援事業への派遣
- ・鬼鹿更生園(小平町)活動支援事業への派遣

[十勝支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、ブロック会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会の開催

4. 道士会主催支部企画講習会（上肢整形疾患へのハンドセラピー）の企画運営、北海道作業療法士会設立50周年記念事業研修会の運営援助、MTDLP 基礎・実践者研修実施 の運営援助、十勝地区作業療法研究会 SIG（ロボット普及センター見学・機器体験会、3Dプリンタ研修会）の企画運営
5. 福祉フェスティバルへの参加
6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣（帯広市介護予防事業への講話）

[根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営3回
5. 市民向け自助具講習会の開催（釧路高専と共催）
6. くしろ健康まつり・厚岸町障がい者（児）ふれあいフェスティバル・釧路車いすマラソン大会、他地域イベント活動への参加
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加、市町村予防事業への指導・協力、地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する作業療法人材育成研修会の運営協力、住民主体型自主サークル立ち上げ支援の協力

[網走支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回
5. 支部事業部主催研修会の開催1回、健康まつりへの参加（北見市・網走市）
6. 高校への進学出前講座の開催（北見市内3校・網走市内1校）
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣